



愛は南から——

珠は、一生使えると思います

真珠アクセサリ工房 わかき 若木 瑞さん みず

1月3日、今年も二十歳の門出を祝う成人式が華やかに開催されました。成人式では毎年新成人の皆さんに記念品として愛南町の特産品でもある真珠のアクセサリが贈られています。

普段着でも身に付けてほしい

アクセサリを制作する若木瑞さんは町内で真珠養殖を営んでいます。真珠養殖は、約60年前に父親が始め、瑞さんで2代目。真珠養殖の作業をする傍ら、女性の視点でできることはないかと考え、作品づくりを始めました。

現在は、一般の方がアクセサリ作りを体験することもできます。

「真珠はフォーマル、結婚式やお葬式に付けるイメージが強いと思うのですが、普段でも身に付けられる、Tシャツ、ズボンでも身に付けられるということ

を伝えることができれば、真珠の消費が伸びるかもしれないと、わずかな力ですが、そう考えて『体験』も始めました」。

一つ一つ違う、それも魅力

成人式の記念品として贈られるのは、ネクタイピン（男性）とネックレス（女性）です。制作にあたって若木さんが特にこだわるのが、真珠の選別です。

珠は宇和海で育ったアコヤ真珠。加工屋さんで処理してもらった上質ものを北向きの自然の光のなかでふり分けしていきます。

「アコヤ真珠は、真円で、見るところによって色が違って見え



るし、すごく深みがあるんです。同じように見えるかもしれませんが、一つ一つ違う。それも魅力なんです。」

「選んだ珠は、一生使えると思います」
そう胸を張る若木さんの思いがこもった記念品。手に取った新成人からは笑顔がこぼれました。